

国際政治

212

二国間と多国間をめぐる日本外交

日本国際政治学会編

序論 二国間と多国間をめぐる日本外交	高橋 和宏
GATT 三五条対日援用問題	鈴木 宏尚
GATT 三五条援用撤回問題と日英通商航海条約	山口 真人
官邸における東南アジア外交の模索	中西 友汰
核物質をめぐる国際協議と日本外交	武田 悠
苦悩する「経済大国」	白鳥 潤一郎
商業捕鯨モラトリアム（一九八二年）をめぐる日本外交	長 史隆
冷戦終結過程での日本の対中外交	若月 秀和
国連安保理非常任理事国としての日本のカンボジア外交	村上 友章
インド太平洋地域秩序をめぐる日豪の多国間と二国間外交の比較	畠山 京子
<hr/>	
責任のリアリズム	平井 雄大
<hr/>	
<書評論文>	
複数の分岐点としてのドイツ統一	倉科 一希
リベラル民主主義国の限界と出入国管理	岡部 みどり
ルールセッターは誰か？	金 ゼンマ
<hr/>	
<書評>	
リチャード・C・アイケンバーグ著 『ジェンダー・戦争・世界秩序』	志田 淳二郎
山尾大著 『紛争のインパクトをはかる』	高岡 豊

2024年3月刊